

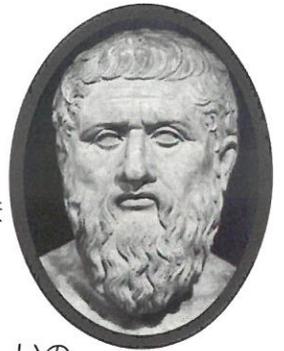
○第2号ミニテストの答え

正解は⑤のはずです（確証は正直もてません、申し訳ないです）。ただ、資料集には右側でクリトンが頭を垂れていると書いているのでおそらく合っていると思います。プラトンは①番の老人なのですが、ソクラテスが亡くなった時は青年だったそうです。しかもプラトンはこの時病気のためいませんでした。ちなみにみなさんが正解だと思ったのはおそらく③番だと思います（当たってましたか?）。この人はただの牢番なんです。右側の人たちは死との別れを惜しむ弟子たちです。②の人は誰かわかりません。

○プラトン

右の人は誰でしょうか、そうですプラトンです。余談ですがプラトンは本名アリストクレスと言い、体格がよく肩幅が広いという意味でプラトンと呼ばれました。上にも書いてますがソクラテスが亡くなった時彼は28歳。アテネの墮落した政治に絶望して哲学者になることを決意しました。

プラトンと言えば「**イデア論**」ですね。イデアは元々「姿」「形」を意味するギリシャ語でしたが、プラトンはこれを魂の目（**理性**）によってのみ認識される**真の存在**だとしました。難しいですね。



例えば皆さんがなぜ花が美しいという認識ができるかという、花が美しいのは色や形によるものではなく、美のイデアを分有しているからです。花を見て美しいと思うのは**イデア界**で経験した美なるもの・善なるものを、花を見て想起起こすからだと言いました。皆さんの魂はイデア界に住んでいました。しかし輪廻によって**現象界**に降り、肉体という牢獄にとらわれてしまい、かつてのイデア界の記憶をなくしてしまいます。しかし、はじめは魂も眠りに落ち込んで忘れていたイデア界を、対象に触れることによって想起こし（**想起【アナムネーシス】**）、真の存在の認識が可能になると説いたんですね。

○ミニクイズ

今回は少し難しかったですね。次はアリストテレスを紹介しますが、ここで問題です。次の①～⑤のうちアリストテレスはどれでしょう。石膏マニアの皆さんならすぐわかると思います。ヒントとして残りの4人は過去の倫理通信に出てきたことのある人物です。ヒントがヒントじゃないという意見は受け付けませんので悪しからず。答えは倫理通信第4号で！



○第4号ミニクイズの答え

正解は「**逆鱗に触れる**」です。何となくわかったと思います。実はみなさんが知ってる諸子百家由来の言葉って結構多いんですよ。他にどのようなものがあるのかというと、「五十歩百歩」、「矛盾」、「温故知新」など様々ですので興味がある人は是非調べてください。

○孔子の思想

右の人は誰でしょうか。そうです、みなさんご存知**孔子**ですね。孔子は**仁**と**礼**を重視し、**聖人・君子**による**徳治主義**を目指した人なのですが、復習がてらちょびっとだけ解説していきますね。



仁を説明する言葉として『論語』には「愛」や「孝」「悌」（親・兄弟に対する思いやり）、「忠」（まごころ）「恕」（他人への思いやり）などがあります。このことから孔子は家族内の身近な愛、特に身分や年齢の下の者から上の者に対する敬愛を基本とし、それを徐々に外へ及ぼすことによってやがては社会や国家に安定がもたらされると考えました。礼とは内面的な仁が客観的な礼に表れたものとして、礼儀作法や法や制度も含む広い概念になっています。

仁や礼の徳は人の生き方だけではなく、政治にも必要とされました。この考えを徳治主義といいます。これと対立する考え方として「**法治主義**」というのがありますね。これは厳しい法と刑罰によって人民を統治する考え方で法家が主張しました。

以上のように国を治めるためには、徳を修めた君子が道に従って民衆に仁と礼を感化しなくてはならないと孔子は説いています。孔子は結局「仁」ってなんだよって人には「愛」であると言いで説明しています。これは最も簡明な仁の説明とも言えることで、「己の欲せざる所、人に施すことなかれ」は、キリスト教の黄金律「何事も人々からして欲しいと望むことは、人々にもその通りにせよ」という言葉は対比的な表現ではあるけども理念は似ていることが分かりますね。

○ミニクイズ

次は孟子をやりたいと思いますので授業では触れなかった（受験で使わないので）孟子のエピソードに関するクイズを出したいと思います。

孟子は学問の道に入ったが、ある日母は孟子に「どれくらい進んだのか」と聞くと孟子は「そのままです」と答えます。すると母は折りかけの布を小刀で断ち切ります。孟子が恐れてそのわけを尋ねると母は「あなたが学問を途中で投げ出すのは、私がこの布を断ち切って自分の務めを放棄するのと同じことだ」と言いました。この話を「**孟母断機**の教え」と言います。このほかに孟子の教育にふさわしい場所を探して墓場の付近から市場、さらに学校の付近へと3回遷り住んだという話がありますが、この話を「**孟母〇〇**の教え」と言います。さて〇〇の中には何が入るのでしょうか。答えは倫理通信第6号で！